



キーワード： 犯罪被害者救済、地域防犯活動、ホンデリング

○取り組んだきっかけ

防犯サークル JUSTICE では、静岡県警察、防犯協会と地域で犯罪を未然に防ぐ活動を実施しているが、近年犯罪被害者救済も重要視されている。そこで犯罪被害に遭って苦しんでいる方に対して支援をするべく、不要になった教科書や参考書、小説などの古本を回収し、犯罪被害者救済のための資金に充てるための活動を始めた。

○活動の目的

大学 1 年次での刑法総論の授業で犯罪被害者救済の現状を学び、警察との協働のうゑで大学 1 階の学生ホールに回収ボックスを設置し、本を収集し、警察の方に回収してもらい、売却した資金を犯罪被害者救済に用いる。

○具体的な内容

1) ホンデリングボックスの設置

公益社団法人 全国被害者支援ネットワークからの引用「本（ホン）で支援の輪（リング）が広がってほしい」に賛同した防犯サークル JUSTICE でも「ホンデリング」活動を開始。水落キャンパス 1 階の学生ホールに回収ボックスを設置し、不要になった教科書や参考書などを回収している。



2) 犯罪被害者支援

不要になった本を回収することで、犯罪被害により転居を余儀なくされた被害者の方への転居費用の支援や、無料のカウンセリング、法律相談の充実、二次被害防止のための社会啓発セミナーの開催ができる。公益社団法人 全国被害者支援ネットワークによると、2021年度には 57,970 冊、金額にして 4,518,936 円の寄付があり、これらを犯罪被害者支援に使用している。

○期待される効果

特殊詐欺や痴漢など、犯罪被害に遭う可能性は誰にでもある。実際に遭うと、心身共に悪影響を及ぼし、自分でコントロールすることが難しくなってしまう。休職や退職、転居を余儀なくされたり、マスコミや周囲の根も葉もない噂や心無い言葉による二次被害など、日常生活に大きな影響が出てしまう。そのため、1 冊でも多く不要な本を回収し、こうした活動に充てることで、12 番を達成しつつ犯罪被害者救済も期待できる。

常葉大学静岡水落キャンパス
防犯サークル JUSTICE

連携先

静岡県警察